

朝日新聞

女子のリーグ開催は 10 年ぶりでした。待ちに待った方々に感動をありがとう！

岩手 12版A 2009年(平成21年)3月1日 日曜日

盛岡出身2人に声援

ハンドボールのトップリーグ「日本リーグ」の岩手大会が28日、盛岡市青山の県営体育館で開かれ、ともに盛岡二高出身で北国銀行(石川)の上町史織主将(28)と大沢光選手(29)に、集まった約2千人の観客からひときわ大きな声援が飛んだ。ポイントゲッターの上町主将は9得点を挙げ、自身初のリーグ得点王をほぼ手中にした。

試合は男女1戦ずつ。女子は北国銀行対日C名古屋、男子は大崎電気(埼玉)対トヨタ車体(愛知)で、いずれも今季最終戦。

上町主将は前半からバスで攻撃の起点となったり、左サイドで球を受け得点につな

げたりと自在な攻撃をみせる。サッカーのPKにあたる7メートルでは客席からの「史織」コールを背に、3回中2度ゴールネットを揺らした。

GKの大沢選手は後半から出場。はじめは連続失点を許したが、途中から持ち直してファイナルセーブを連続し、客席をわかせた。

試合は40-19で北国銀行の勝利。上町主将は「たくさん地元の方が盛り上がり、うれしかった。2週間後のプレーオフまでできることをすべてやりませう。大沢選手は「こんな素晴らしい興奮はじめて、緊張したが、ラスト20分くらいは自分の力を出

ゴール前からシュートを放つ上町史織主将
＝盛岡市青山の県営体育館



せた」と声を弾ませた。この日の試合終了時点で、得点数2位の選手に29点差をつけた上町主将、相手の最終戦が残る3月1日を前に得点王がほぼ確実になり、「得点は自分一人でもれるものではない。打たせてもらったみんなに感謝しています」と話した。